

高嶋技研株式会社の事業内容

1. 事業概要

高嶋技研株式会社（高嶋技研）は高速画像処理技術をコアに、非破壊・非接触の検査装置、素材分類処理装置の開発・設計・製造・据付工事一式を行っている会社である。

1964年に創業し、1984年に世界初の3CCDカラーラインセンサカメラを開発、量産したことをきっかけに自動検査装置の分野に進出した。

その後、1994年の500ミリリットル以下の容器へのPETボトル使用解禁を契機に、急速に飲料容器がガラスびんや缶からPETボトルに移行していく中、1999年X線PETボトルキャップ締付検査装置を開発。飲料業界に進出し、好評をいただてきた。

現在の主力事業は、PETボトルのみならず、缶やびんにも広がってきており、皆様が日常手にする飲料の、

- ・ キャップの検査
- ・ びんの検査
- ・ びんや缶・PETボトルに充填された量の検査
- ・ びんや缶・PETボトルの中に異物が入っていないかどうかの検査
- ・ PETボトルやびんに貼られたラベルの検査
- ・ 出荷時に梱包されるケースの印字やつぶれ・やぶれなどの検査

などを行う装置の開発・製造・販売を行っている。

飲料メーカーは、これらの検査を生産ラインの中で、一本一本全ての製品について行い、インライン検査と言っている。オートメーションラインに飲料（ボトルや缶）が流れているのをご覧になった方もいると思うが、毎分何百本という数の飲料が製造

されている。その商品の一つひとつの検査に、高嶋技研の高速自動検査装置が使用されている。

2. 事業を支える技術と将来展望

飲料製品のインライン高速自動検査を実現する技術は、主として

- ・ さまざまな種類の製品を撮像する画像処理技術
- ・ そのための飲料の搬送や撮影タイミングなどを的確にコントロールする制御技術
- ・ そして、撮像や制御が的確に行えるように動かすハードウェア技術

がある。

高嶋技研は、これらの技術を組み合わせインテグレートする技術を持っている。

また、お客様の製造ラインはそれぞれ検査要求（仕様）が異なり、それぞれのご要望をお伺いし、ニーズにあった最適な検査装置にカスタマイズする技術を持っている。

さらに、お客様の製造ラインは24時間フル稼働しているため、インラインの検査装置も同様に稼働しなくてはならない。そのためサポート体制、メンテナンス体制を整えて、対応している。

お客様のご要望（検査精度向上、検査スピードアップ、迅速な対応など）は年々変わってきているため、上記の技術を高いレベルで維持・発展させ、サポート体制を強化していくことが重要と考えており、たゆまぬ努力の継続が将来の発展には欠かせないと考えている。

文責

高嶋技研株式会社 代表取締役社長

朝倉 一郎